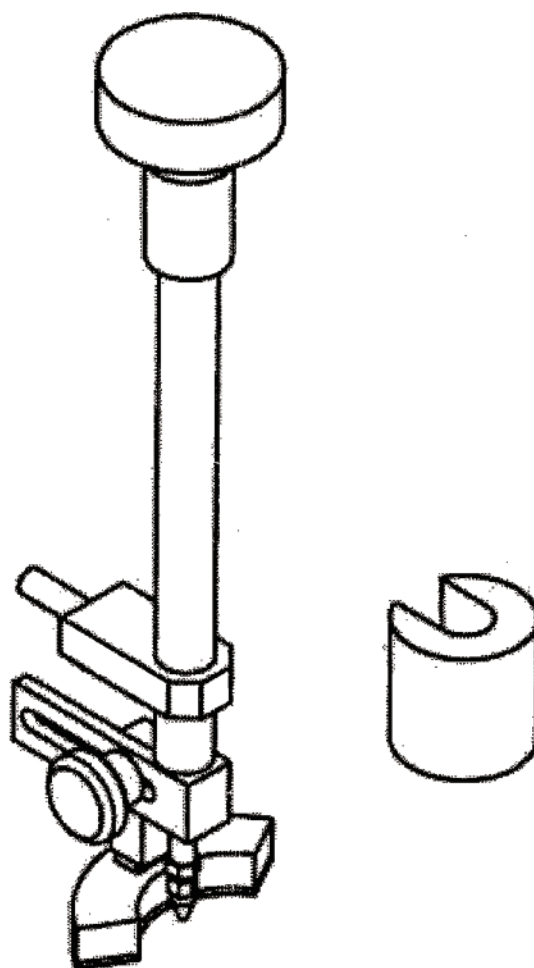


ハンディプルーラ取扱説明書

必ずお読み下さい



自動車整備用機械工具開発及び輸入販売 〒369-0316

World Auto Tool 埼玉県児玉郡上里町長浜122

URL: <http://www.worldautotool.co.jp/>

TEL: 0495-34-2668

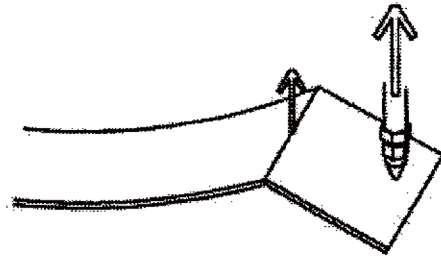
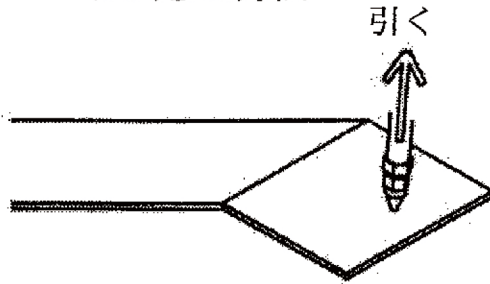
FAX: 0495-34-2658

Email: w.a.t@ace.ocn.ne.jp

1. パネル修正の基本

1-1. 一般的修正方法

修正したい所も一緒に引かれてしまい修正できない。
(一般的にはハンマーリングで修正する)

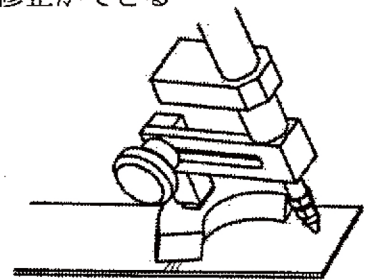
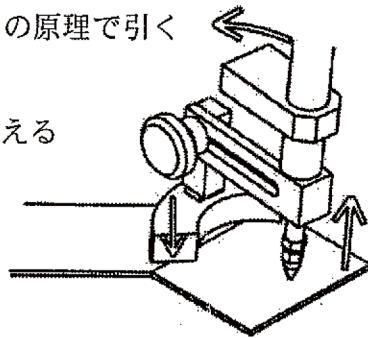


1-2. ハンディプルーラでの修正方法

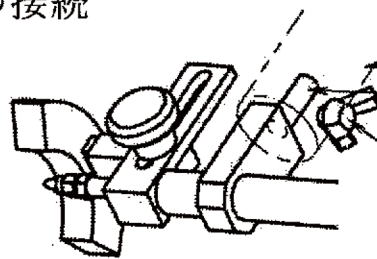
押さえて引くから完璧に修正でき
理想の修正ができる

テコの原理で引く

修正したい所を押さえる



2. 溶接機との接続



溶接機ホルダー

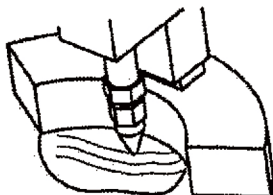
電極アタッチメント

標準:10m/m オプション:16m/m

その他はメーカーにお問い合わせ下さい。

確実に締めて下さい。

3. チップ溶着の仕方



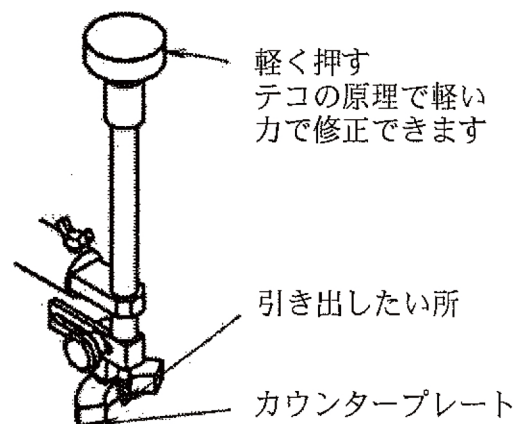
少し浮かし気味にする

チップ先端を目的の場所に軽く押し付けて溶着して下さい。
(溶着時にはチップに触れないで下さい。火傷をする恐れがあります。)

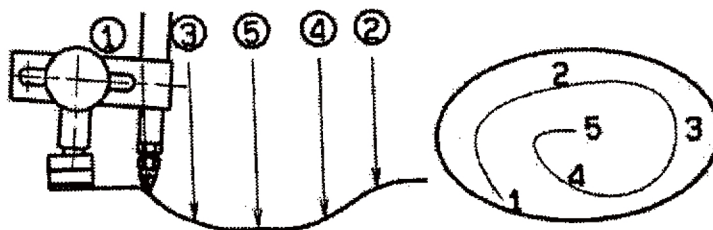
4. パネルの修正

4-1. ポイント

押さえない所をカウンタープレートで
押さえ引き出したい所に確実に
チップを溶着させて下さい。



4-2. ポイント

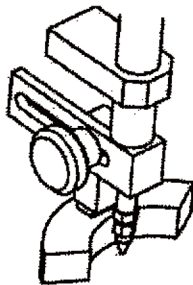


修正手順として外側から円を描くように中心に向かって順次引き出すときれいに修正できます。又大きい面積も修正できます。

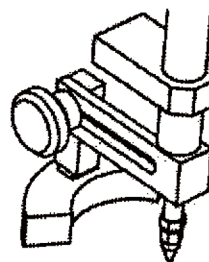
4-3. ポイント

カウンタープレートの調節

狭くすると狭い面積で鋭い引き出しが出来ます。

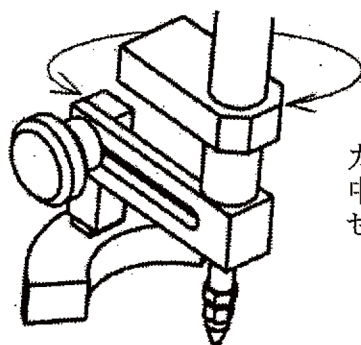


広くすると広い面積で平均した引き出しが出来ます。



修正面積、状況に合わせ適且つに調整することによって狭い面積から広い面積まで、又浅いダメージから深いダメージまで修正出来ます。

5. チップカット

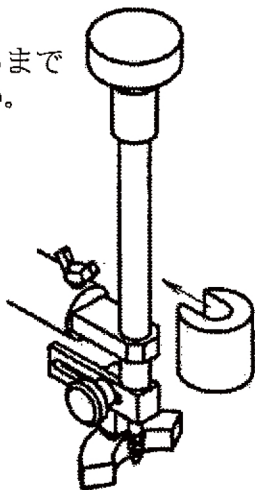


反復回転

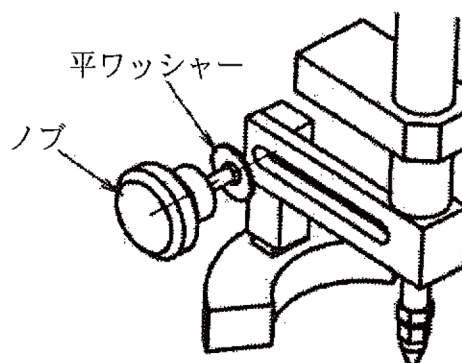
カウンタープレートを少し浮かし、チップを中心に、反復回転させることで素早く切り離せます。

6. スライドハンマーのセット

横からロックするまで押し込んで下さい。



7. カウンタープレートの組み付け方

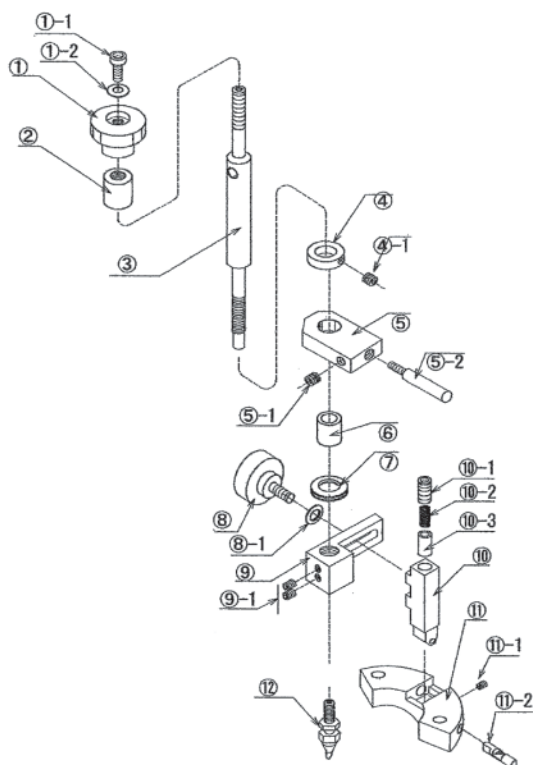


8. 消耗品

別表をご参照下さい。

チップ交換時にはロックナットを確実に締めて下さい。

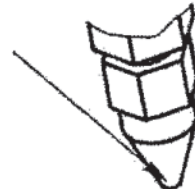
9. 構成部品表



商品名	図番号	定価	型式
本体ノブ	①	7,000	SUS-17H-1
キャップボルト	①-1	200	
ワッシャー	①-2	100	
本体ノブカラー	②	2,700	TP-40
シャフト	③	13,000	SUS-17S
スリップリング	④	2,700	TP-10
ホーローボルト	④-1	100	
スリップブロック	⑤	4,400	TP-61
フォロボルト	⑤-1	100	
電極アタッチメント	⑤-2	1,300	NGT-45
カラー	⑥	1,600	TP-25
皿座金×2	⑦	250	DB-14H×2
カウンタースター	⑧	2,700	
ノブワッシャー	⑧-1	100	
カウンタースター	⑨	7,200	
カウンタースター	⑨-1	100	
カウンタースター	⑩	9,400	SUS-17H-10
カウンタースター	⑩-1	100	
カウンタースター	⑩-2	1,600	
カウンタースター	⑩-3	600	
カウンタースター	⑪	13,900	
カウンタースター	⑪-1	100	SUS-17H-11-1
カウンタースター	⑪-2	200	SUS-17H-11-2
カウンタースター	16PMのみ	1,100	
ハンマー	16PMのみ	16,600	
HPチップ(10コ)	⑫	15,000	TP01×10

10. 取扱時の注意事項、禁止事項

触らない
高温



- 1) 自動車外板パネル修正作業以外には使用しないで下さい。
- 2) 溶着時にチップ部には触れないで下さい。
高温になり火傷をする恐れがあります。
- 3) 溶接時に顔、手等をチップに近づけないで下さい。火花が飛ぶ場合があります皮膚に火傷をする恐れがあります。防護眼鏡、手袋をご使用になればなお安全です。
- 4) 使用中本体が高温になる場合があります。取扱いには注意して下さい。
火傷をする恐れがあります。

もし、火傷をした場合はすぐに冷水で冷やした後、病院に行って診察、手当を受けて下さい。

- 5) 可燃物のある所では使用しないで下さい。
- 6) パネルの裏側に可燃物のある所には使用しないで下さい。
- 7) アースと同時に触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- 8) 分解、改造はしないで下さい。